

大館郷土博物館ホームページ「先人顕彰の部屋」に掲載されている先人たち

分野	氏名（ふりがな）	出身地等	主な業績
文化 ②	小林 多喜二 （こばやし たきじ）	川口	・プロレタリア作家。「蟹工船」が代表作。
	村木 清一郎 （むらき せいいちろう）	小坂町 金坂	・「譯萬葉」を出版した。
産業 経済 ⑬	田村 松助 （たむら まつすけ）	岩 瀬	・父の鉄工所を引き継ぎ、業績を伸ばし、東北有数の大工場へと成長させた。 ・山瀬村長となり、公共事業に多くの私財を投じた。
	木村 泰治 （きむら たいじ）	風呂屋町 （現向町）	・台湾土地建物株式会社を設立して、台北の都市開発に取り組んだ。
	山田 定治 （やまだ さだじ）	常盤木町	・声良鶏、比内鶏、金八鶏の飼育を行い、天然記念物指定を働きかけた。 ・「天然記念物秋田三鶏資料収蔵庫山田記念館」を設立した。
	石井 嘉右衛門 （いしい かえもん）	十二所	・十二所軽井沢、餌釣、花岡、池内などを開墾した。 ・旧田代町に「嘉右衛門ぜき」という用水路を作った。
	岩沢 太治兵衛 （いわさわ たじべえ）	中町	・飢饉に備えて米を集め、「戊辰の役」で役立てた。 ・「田畑郷助」というしくみをつくった。
	大沢 和二郎 （おおさわ わさぶろう）	釈迦内 扇田	・「御伝馬制度」に苦しむ人々に200両を寄付して無尽講を開いたり、能代との交易によって蓄えを増やしたりした。 ・貧しい人たちに米を分けたり、子どもに学用品を与えたりした。
	小林 徳兵衛 （こばやし とくべえ）	扇 田	・開墾に力を入れ、扇田神明社の南側や倉下の田んぼを開いた。
	小松 多治右衛門 （こまつ たじえもん）	独 鈷	・荒れた林野を整理し、植林して木を売り、その金をたくわえて村の財産を作り、学校を建てたり飢饉の時に役立てたりした。
	桜庭 小右衛門 （さくらば こえもん）	有 浦	・新しい農業を進めるために区画整理が役立つと考え、計画の大切さを農家に熱心に説き、工事を進めた。
	佐藤 文治 （さとう ぶんじ）	早 口	・秋田藩庁開発方の世話役として開拓指導に専念し、早口近辺の田の開拓に大きく貢献した。
	田中 藤治 （たなか とうじ）	舟 場	・米代川を渡る橋の工事を行った。工事が長引いたため自分の財産を売って費用をつくり、完成させた。
	野呂 多一郎 （のろ たいちろう）	西 館	・地力改良のため稲作用の肥料を工夫したり、「南部馬」を全戸に飼育させたり、麦やぶどうの集団栽培を取り入れたりした。
	三浦 八右衛門 （みうら はちえもん）	二井田	・山本郡鶴川の生まれだが、望まれて二井田地区の開墾にあたった。 ・工事の途中で亡くなるが、息子が後を受け継いで完成させた。
自然 科学 ②	荒谷 武三郎 （あらかや たけさぶろう）	扇田	・風穴の理論研究を行い、「風穴の研究」「矢立風穴」「釈迦内郷土誌」などを発表した。
	浅利 菊松 （あさり きくまつ）	山田	・日本でも珍しいアマチュア気象観測所長を務めた。

スポーツ ②	佐々木 吉蔵 (ささき きちぞう)	小坂町	・陸上選手。ベルリンオリンピック100mに出場。
	石戸 四六 (いしと しろく)	幸町	・プロ野球国鉄スワローズ投手。オールスターにも2度出場。
医学 ②	佐藤 周子 (さとう ちかこ)	部垂町	・放射線によるがん研究を行った。猿橋賞受賞。
	鳥潟 隆三 (とりかた りゅうぞう)	函館 花岡	・「コクチゲン」(鳥潟軟膏)を発明。日本外科学会会長に就任。 ・故郷の花岡の邸宅と庭園(現在の鳥潟会館)を花岡町に寄贈した。
技術 工学 ①	鳥潟 右一 (とりかた ういち)	花岡	・TYK式無線電話を発明。 ・三重県鳥羽市、東京―上海間などで無線電話を使って通信することに成功した。
教育 福祉 ③	日景 弁吉 (ひかげ べんきち)	釈迦内	・「向陽学校」を開設。日景学校と改称し、のちに自分の所有地に新築。さらに日景英学校を設立した。 ・土地を切り拓いて道路を作ったり、機織りの技術を教える養成所を設立したりした他、養蚕、杉苗の栽培などの産業も興した。
	栗盛 吉右衛門 (くりもり きちえもん)	馬喰町	・自分の財産を使って奨学金の貸し付けをするなどの育英事業を始めた。
	明石 文治 (あかし ぶんじ)	扇 田	・道場を開き、柔道を広めることに力を入れた。 ・教育振興にも力を入れ扇田小学校に校地を贈った。
人文 科学 ②	狩野 良知 (かのう よしとも)	三ノ丸	・幕府の鎖国政策を批判した「三策」を執筆。 ・秋田市の「千秋公園」の命名者としても有名。
	狩野 亨吉 (かのう こうきち)	三ノ丸	・狩野 良知の二男。初代京都帝国大学文科大学長。 ・安藤昌益の「自然真営道」の研究を行う。
思想 宗教 ②	安藤 昌益 (あんどう しょうえき)	二井田	・八戸で医師として働きながら、独自の思想を生み出した。 ・「自然真営道」が代表的著作である。
	中田 羽後 (なかた うご)	桜町	・「メサイア」を最初に邦訳演奏し、『リバイバル聖歌』を出版。「おお牧場はみどり」の作詞も行った。
芸能 ②	上原 敏 (うえはら びん)	大町	・歌手。「妻恋道中」「流転」「裏町人生」などがヒットした。
	鳥潟 小三吉 (とりかた こさんきち)	花岡	・軽業師。ヨーロッパに渡り、「トリカタ・サーカス」が好評を博した。
政治 ⑦	小畑 勇二郎 (おばた ゆうじろう)	早口	・秋田県知事を6期24年務めた。 ・「まごころ国体」誘致。自治体における「生涯教育」の実施を最初に提唱した。 ・第1号の秋田県名誉県民となった。
	畠山 重勇 (はたけやまじゅうゆう)	大葛	・県議会議員、衆議院議員、比内町長を務めた。 ・第1号の比内町名誉町民となった。
	荒谷 桂吉 (あらかや けいきち)	大葛	・県議会議員となり、議長も務めた。 ・秋田改進黨をつくった。犬養毅の参謀役として活躍。
	石田 博英 (いしだ ひろひで)	能代市 三ノ丸	・衆議院議員。6期にわたり労働大臣を務めた。 ・自宅の庭が「石田ローズガーデン」となった。
	佐藤 敬治 (さとう けいじ)	栄町	・初代大館市長。4期16年間務めた。 ・衆議院議員として6期20年務めた。
	横山 助成 (よこやま すけなり)	長倉町	・6都府県知事を務めた後、警視總監となった。 ・遺族から横山児童公園(柳町児童公園)が寄付される。
	吉田 季吉 (よしだ すえきち)	岩野目	・早口村と岩瀬村が合併して田代町となったときの初代町長。第1号の名誉町民称号が贈られた。